

校長 あいさつ

昨年度の3月から始まったコロナ感染予防のための休校措置。新学期が始まってから、すぐに非常事態宣言が出されると同時に、休校の継続が決定されました。さらにそれから、1か月の休校。行事も、運動会・水泳・山海島体験活動・参観日など子ども達だけでなく、保護者や地域の方にとっても大きなイベントが軒並み中止となっています。学校も、再開されたとはいえ、いつ何時第2波の影響を受けるかもしれません。それ以上に、感染源にならないための取組も職員と一緒に日々考え、取組を進めています。こうした状況の中で、子ども達のために何ができるのか、全職員が一丸となって取り組みを進めています。

今年で4年目を迎えます。テーマは『一生懸命はかっこいい』です。だれもがみんなからほめてもらいたい、自分の頑張っているところを認めてもらいたい、そんな子ども達の頑張りが、いろいろな所で発揮され、みんなから認めてもらえる。勉強や運動、挨拶や掃除、どんなことでもいいので一生懸命やりきる、そして、職員はやりきらせる。そんな指導を全職員で展開し、子ども達の頑張っている姿がいつでも見られる学校にしていきたいと考えています。

それから、本校の自慢は、3年前から始めた『3つの黙々』です。「黙々清掃・黙々移動・黙々集合」の3つを全校でやり遂げる。この目標を掲げて、全校児童、教職員で取り組んでいます。そして、この取り組みを成功させるために始めた児童会活動があります。

児童会執行部が中心となって決めてくれたキャッチフレーズは【あいさつのできる波多見小学校】です。児童会、6年生が主体性をもち、新たな波多見小学校をめざして、新たな風を吹かせてくれることを期待しています。

熱心な教職員と協力的な保護者や地域の方々に見守られながら、すくすくと伸びている波っ子たちに応援よろしくお願いします。



令和2年 6月

校長 相模 昇